

新クルンテープ橋建設事業



本事業により建設された新クルンテープ橋

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	7,546百万円 / 2,660百万円
借 款 契 約 調 印	1993年1月
借 款 契 約 条 件	金利3.0%、返済25年（据置7年）
貸付完了	2000年10月

[事 業 概 要]

チャオプラヤー河にかかるクルンテープ橋における増大する交通量に対応するため、新しい橋梁の建設及び既存の橋梁のリハビリを行うもの。

[評 価 結 果]

本事業により、既存クルンテープ橋(旧橋)の上流側に隣接して新クルンテープ橋(新橋)が建設された。また、旧橋も本事業によりリハビリを行い、軽車両専用橋として有効利用されている。

旧橋と新橋を合計した一日の交通量は、2000年は146,708台、2001年は163,606台であり、2001年に110,640台に達すると見込まれていた計画台数を上回っている。新橋では朝のピーク時においても渋滞は発生していないが、旧橋では本事業完成年の2000年に一旦渋滞が解消されたものの、2002年には再びピーク時の渋滞が発生している。これは、周辺道路へのアクセスの良さから、旧橋がより利用者を集めているためと考えられる。

また、チャオプラヤー河には他に6つの橋梁があるが、本事業により、これら橋梁の交通渋滞は減少傾向で、平均走行速度も上昇しており、本事業は周辺道路の交通渋滞緩和という目標を達成していると言える。

施設の状況は良いが、予算削減が続く中で、運営管理体制を強化することが課題である。